

夢を育て、力をあわせてはばたこう！

2013年 2月 25日発行

NO. 59

カ ム ニ テ ィ ー  
翔 夢 nity

特定非営利活動法人  
『翔夢』

http://www.npo-cam.jp/

e-mail: nandemosoudan@npo-cam.jp



特定非営利活動法人 翔 夢 法人本部 大阪市平野区長吉長原1-12-20

【事務局】

大阪市平野区長吉長原1-12-20  
TEL (06) 6760-6167

長吉第1施設

障がい者ふれあい交流センター  
大阪市平野区長吉長原2-14-15

相談支援事業 ホープネット  
TEL (06) 6760-6161

地域活動支援センター ハートネット  
TEL (06) 6760-5343

生活介護事業 ジョイネット長吉第2  
TEL (06) 6760-6250

PC事業部

TEL (06) 6760-6210

長吉第2施設

障がい者ふれあい交流センター 第2  
大阪市平野区長吉長原2-11-8

生活介護事業 ジョイネット  
TEL (06) 6155-9901

長吉第3施設

障がい者ふれあい交流センター  
大阪市平野区長吉長原1-12-20

就労継続支援 (B型) 事業 ドリームネット  
TEL (06) 6760-6181

障がい者ふれあい交流センター つるみ支所  
大阪市鶴見区浜4-18-7

就労継続支援 (B型) 事業 ワークネットつるみ  
TEL (06) 6912-7333

## ご協力のおねがい

NPO法人「翔夢」では、アルミ缶のリサイクル活動も行っております。近隣ならば伺いたしますので、ご協力をお願いいたします。

ご連絡は下記へ。

TEL (06)

6760-6250

中森



## 翔夢Nity. 59 もくじ

P 1	表紙
P 2	厨房より・お知らせ
P 3	理事長の1か月
P 4	レク 豆まき
P 5	レク 豆まき
P 6	職員紹介

表紙は、南南東を向き恵方巻きを食べています

## 厨房からのお便り

2月のレシピ紹介は、和食のイカと大根の煮物をご紹介します。

まだまだ寒い時期が続きますのでぴったりのお料理です。

ポイントは、作って1日寝かせる事。

食材に味が染み込み美味しくなるので是非ともお試しください。

### 「イカと大根の煮物」

#### 【作り方】

- ①大根は竹串が刺さるまでゆがき冷水にさらす。
- ②Aで下処理したいかを煮る。いかに火が通ったら、イカを取り除き、①の野菜を入れて沸騰させる。沸騰したら一晩寝かせて味をしみこませる。
- ③提供前30分前くらいに、イカを入れて煮立たせる。  
煮すぎるとイカがかたくなるので注意。

## 賛助会員入会のお願い

「翔夢」の活動をご理解いただき、賛助会員に入会をお願いいたします。

募金・賛助会費振込先

郵便振替

口座番号 00980-8-317336

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

三菱東京UFJ銀行 平野南口支店

口座番号 普通 4636394

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

するめいか 0.20 杯

下処理（皮をむかずに）をして、  
幅1.5cmの輪切り

大根 60.00 g

皮を剥いて、2cm幅にカット。  
大きければ半月にカット

絹さや 1.00 枚

ボイルして半分にカット

A	水	70.00 cc
	酒	9.00 cc
	みりん	5.00 cc
	砂糖	3.00 g
	濃口しょう油	9.00 cc
	本だし	0.50 g

# 理事長の一か月

この間ニュースを見ていて「えっ」と感じる報道がありました。

それは「大阪府受動喫煙の防止等に関する条例」です。

その内容は公共性の高い施設での喫煙の禁止をすることで建物内では一切の喫煙を認めないほか、建物管理者にも禁煙の指導が十分ではない場合、大阪府からの指導・注意勧告・罰金等の制裁を付け加える等のもので、タバコを吸わない者からは良い条例のよう感じます。

しかし対象が障害者の福祉施設も入ってくると問題は深刻です。この間、翔夢の利用者の中で喫煙をする人たちはたばこ税の増税でタバコの値段が上がりに、「できたら止めたい」と考え、禁煙治療を受ける人も多くいます。しかし、精神障害や発達障

害または知的障害を持つている方たちはなかなか成果

が出ず、治療を受けても止められずにいます。生活保護受給者にとっては生活費を大幅に切り詰めなくてはならず、大変しんどい思いをしているのに止められません。

精神科も禁煙の波が押し寄せます。通院の際は良いですが、入院の時はずっと禁煙は耐えられない様でいつも入院している病院が全面禁煙になつたら病院を変えなくてはならず、禁煙の事を知る患者さんは入院拒否をしたり、結構現場では様々な問題が起こっています。そんな中での条例で止めたくても止められない人にとっては大変な問題です。

また、施設もダメになると「吸えないなら辞める」と考える方も多く、社会からの断絶にもつながりかねません。そこですぐに条例の担当者に

電話をして内容を伺うと「文章では障害者施設はだめとありましたがその項目は外させていただきました」とのこと。

今回はこれで何とか問題はなくなりりましたが、私は今回の条例で大きく感じる事があります。喫煙というのは国が認めている限り、喫煙者は周りの人に配慮をし、喫煙を行うものでそういった配慮が出来ない人が増えて来ている状況は、国が教育（学校教育を指すことではない）することだと考えます。日の丸・君が代の問題も強制されることではなく、そこにいる人の同意が大事で国が法的に罰するものではないはずの類を今、国は権力の力で思想等までも締めつけようとしているのではないのでしょうか？

この国の将来にもものすごく不安を感じる今日この頃です。

## お仕事おまかせください！

翔夢では、メンバーの障害に応じて、パソコンを使っての各種作業や軽作業などを分担しています。



- 各種データ入力
- 名刺・チラシ
- インターネット検索
- ホームページ制作・更新
- 組み立て作業
- 袋詰め作業 など

お気軽にご相談ください

**NPO法人 翔夢**
**パソコン事業部**
TEL 06-6760-6210 担当：石井

## ひと足早い節分祭

鬼に思いっきり豆をぶつけました。

二月一日、一足早い節分祭が行われ、鬼に扮した職員が各施設を周りまわりました。その後、伊藤園さんのおいしいお茶「俳句大賞」に応募する俳句を作りました。各施設の様子を報告いたします。

### 第一施設

昼食は定番の恵方巻。今年の恵方は、昨年とは真逆の南南東だそうですが、みなさんそ

鬼のほうお待ち伏せされてい

るようで不憫かも(笑)。

の恵方は、昨年と、そこへ三人の鬼が登場。

とは真逆の南南東 大声で叫びながら、縦横無尽

に走り回りましたが、力いっ



んなことはお構いなし。思い思いの食べ方で頬張っていました。年齢の十分の一の数の豆を食べ終ると、いそいそと鬼を迎え撃つための準備

ぱい「鬼はそれと！」と豆を投げつけられ、あえなく退散。みなさんの勝ち誇った表情が印象的でした。鬼を追い払った後は、これまた恒例の伊藤園さんに応募する俳句作り。恋愛や趣味、家族につ

いて歌ったものもあれば、自らが背負う障害についての思いをつづったものもあり、ひとり一人の個性や人間性があふれていました。昨年に入賞した作品もあり、次は自分と熱い思いで取り組んでいました。(木戸)

### 第二施設

節分行事において私は、三人いる鬼の中の黒鬼をつとめました。

ドアを開けると、「おには、そと」の大きな声と共に豆が飛んできました。思っていた以上に痛く、初めからすごい勢いでした。大きな声を出して、反撃するものの、多勢に無勢、豆を目からいれてくるメンバーさんもチラホラ。部屋中を周り退散しました。次に向かったのは、第三施設。今思うと、一番攻撃をしてきた施設です。そして、あ



まり鬼を怖がってくれませんでした。ここでは、滞在時間も長く、施設を出た時には、ハアハアと息を切らしていました。最後に第二施設。ここが一番鬼に対して親切でした。豆もゆっくり飛んできました。そして、喜ばしい事にここには、鬼を怖がってくれる人が数名いました。来年鬼をする機会があれ

ば、もつと上手に振る舞えるように心掛けたいと思います。私にとってはもちろんですが、職員・メンバーさん共々楽しい雰囲気で行事を終える事が出来ました。(堀)

### 第三施設

いろいろとどりの三人の鬼達は、第一施設で豆とボールの洗礼を受け、第三施設のすぐ近くまで来た。三人の鬼は気合いを入れるかの様に、声を出して第三施設の入り口へと向かいました。

しかし、何だか様子が少し違いました。入り口付近で三人の鬼たちが来るのを、手ぐすね引いて待ち構えていました。鬼が来ると豆やボールを投げられるとあって、楽しくて仕方なく待ちこがれていたみたいでした。

扉が開いて三人の鬼が施設内に入ると、それぞれ散って行き、鬼だぞー鬼が来たぞー



と言いながら施設内を歩き回ると、豆を投げつけられたりボールをぶつけられたり、体当たりされたり、鬼の金棒を奪われそうになったりと、とにかく何に置いてもすべてが激しいのです。鬼たちはすぐに息が切れ始めましたが、そんな事はおかまいなく、激しい攻撃が繰り返され、赤鬼は引倒されたりしていました。もうそろそろ時間と思いい鬼た

ちが入り口付近に集合するも、職員が入り口で扉が開かない様に押さえていたので外にも出られず、また施設内を走り回る事になりました。利用者さんもかなり興奮していて、大笑いしながら鬼の後を付け回し、豆を投げたりして楽しんでいました。ようやく扉が開き三人の鬼が第三施設を出る事が出来ましたが、その時に「鬼は外」ばかり言って「福は内」は言わなかったもので、福は来ないかな？と言う後日談を聞きました。これは豆まきと言うよりは、鬼退治ではないかと思いつつながら次の施設へと移動して行きました。

### ワークネットつるみ

ワークネットつるみでは、まずはじめに伊藤園さんのおいしいお茶新俳句大賞を目指し取り組みました。日頃、ワイワイとしているのと一転!!

あっち、こっちで指を折りながら小さな声でぶつぶつと表情はまるで鬼の形相(笑)。

自分の納得できる俳句ができた人から仏様のような顔つきに変わって行きました。

五・七・五を考える上で目に見えない、頭で考える、苦手な人も多かったですがなんとか乗り越える事ができました。

豆まきをする前にみんな確認をし、「福はうち」「鬼はくそと」つるみのメンバーさんはあまり乗る気でない様子(反省)。いざ、鬼が登場、鬼が少しずつ近づいてくる・・・!

その時、みんな一斉に鬼に向かって豆を投げ出しました。力いっぱい投げる人や遠慮しながら投げる人、様々なやり方で・・・!でも目的は同じ、団結を見たように感じます(笑)

豆まきを終えてから気付いたのですが、なんと、誰も、「福はくうち」「鬼はくそ」と言わずに投げてしまっていました。それを聞いて笑顔で来年こそは、とみんなで希望を残しつつ、無事に終わる事ができました。今年も皆様のもとに福がおとずれますように・・・ (西牟田)



## 一日一日を大切に

相澤 健一

みなさんこんにちは、ワークネットつるみで管理者をさせて頂いております、相澤健一と申します。

私は、昨年の六月から翔夢に就職させて頂きました。それまでは、別の社会福祉法人の組織に所属しておりましたが、私自身思うところがあり退職し、その後ご縁があり翔夢に現在在職しております。

この仕事(コンピュータ)を本当に続けるべきなのかと悩み、一大決心をして転職、その当時の「無認可作業所」というところの職員になりました。

その頃は一〇〜二〇人ぐらの精神障害をお持ちのメンバーさんといっしょに、内職をやったり、近くの公園に行ったりまたは旅行を企画してみんなで出かけたりしていました。

また、様々な縁もあって違う施設に転職する事もあり、色々な方々(色々な障害の)とお会いする事が出来、私自身いままでの二〇年間はとても勉強になったと思っています。

元々コンピュータのシステムエンジニアをしておりまして、学校を出てから十年ほどです。しかし、学生時代にボラティアをしていたのを思い出すと同時に、今

ただ、現在の福祉に関する勉強はまだまだ出来ておらず、自らを叱咤するばかりでありますのでこれからの毎日を大事に一日一日を過ごしていこうと思っています。もちろん、楽しい事も忘れ

ずに、いつでも初心に帰り皆さんと楽しく笑っていききたいなとも思っていますので宜しくお願い致します。

## 物品提供のお願い

ご自宅に眠っている食器(未使用)贈答品、生活用品、等がございましたら、ご提供をお願い致しております。

毎月、最終週にバザーを開催しています。バザーでは、食器類や小物、アクセサリー等を販売しています。是非、お立ち寄り下さい。

バザーを行なっている場所は  
障がい者ふれあい交流センター  
平野区長吉長原2-14-15です。